かどましりつとしょかんだより

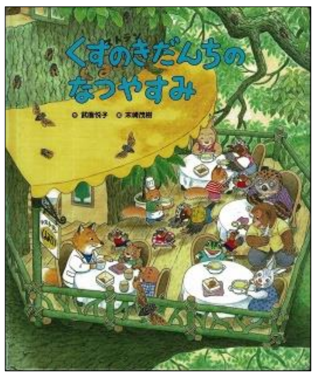
２０２３年　７月　第３７号

毎日暑い日が続きますが、夏には楽しい行事がもりだくさん！夏休みが楽しみですね。図書館では上映会や手づくり遊びなどいろんな行事を予定しています。ぜひ図書館をのぞいてみてくださいね。今回は夏にぴったりの本を紹介します。暑さを読書でのりきましょう。

おすすめのほん

「くすのきだんちのなつやすみ」

武鹿悦子／作　末崎茂樹／絵　ひかりのくに

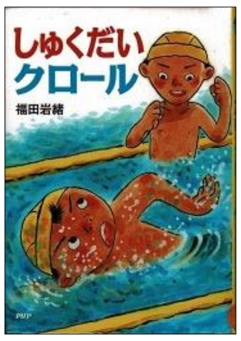


えほん

もぐらのもぐは、くすのきだんちのかんりにんです。１０かいだてのこのだんちには、いろんなどうぶつたちがにぎやかにくらしています。ところが、あるひ、みんながりょこうにでかけたりうみにいったりしてもぐはひとりきりに。そこへ、るすをねらってるすあらしがやってきます。ピンチのもぐをたすけてくれたのは？

「しゅくだいクロール」

福田岩緒／作・絵　ＰＨＰ研究所

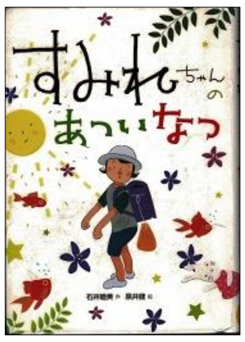


やさしいよみもの

小学３年生のしょうたは１年生の時、遊園地のプールでおぼれてから、プールがこわくなっていました。それなのに、水泳大会のリレーの選手にえらばれて、クロールの挑戦がはじまりました。水泳が苦手な子におすすめの一冊。ほかにもさかあがりや大なわとびなど「しゅくだいシリーズ」があります。

「すみれちゃんのあついなつ」

石井睦美／作　偕成社



やさしいよみもの

小学２年生のすみれちゃんは、長い夏休みを「すばらしい！」と思いながら、ゆっくりテレビを見ているとママからうるさく言われ、宿題をやっていないことを注意される。さらに、妹の世話をママにおしつけられてうんざりしたすみれちゃんは、家出を決意する。ユーモラスなお話。ほかにも「わたしはすみれシリーズ」があります。

「チャンス　はてしない戦争をのがれて」

ユリ・シュルヴィッツ／作　原田勝／訳　小学館

よみもの

第二次世界大戦下、ポーランドの家を失い、ヨーロッパ中をさまようことになったぼくと家族のくらしを描きます。作者は「よあけ」「ゆき」などを描いたユリ・シュルヴィッツ。タイトルの「チャンス（Chance）」には、「好機」のほかに「偶然」という意味があります。家族そろっていきのびれたことを“チャンス”と語った作家が見た戦争の記憶です。

としょかんからのおしらせ

夏休み上映会

とき：７/２１（金）午前 11 時から約１時間

ところ：本館

「すみっコぐらし　とびだす絵本とひみつのコ」

夏のおはなし会

とき：７/２２（土）午前 11 時～11 時 45 分

ところ：本館

「なつのいちにち」ほか

本のおたのしみ袋

司書おすすめの本を袋につめました

どんな本が入っているかは

借りてからのお楽しみです

とき：７/２１（金）から

ところ：本館・市民プラザ分館

※各館２０セット、なくなり次第終了

親子で楽しむ紙芝居とおはなしの会　パート 39

とき：７/２９（土）午前 11 時～11 時 45 分

ところ：門真市民プラザ２階　第一会議室

夏の手づくり遊びの会

「とびだすカードをつくろう」

とき：７/２９（土）午前 10 時 30 分～正午

ところ：本館

とき：８/８（火）午前 10 時 30 分～正午

ところ：市民プラザ分館２階　第１会議室

各館定員：１５名

※くわしくは
それぞれの図書館で
きいてみてね

８/２２（火）にこわ～いおはなし会もあります！お楽しみに！

次号は９月下旬に発行予定